

平成13年度 舞踊学関係修士・博士論文題目一覧

論文題目	氏名	大学院名
修士論文		
・ダンス経験が脊髄運動ニューロンの興奮性に与える影響 －H反射を手法として－	田中真実子	お茶の水女子大学大学院
・マンガにみるメタファーとしてのバレエ	中里 明子	お茶の水女子大学大学院
・筋活動様相からみた下腿の筋持久力特性 －ダンス経験による適応の可能性－	吉田 真咲	お茶の水女子大学大学院
・獅子舞の型と伝承過程 －埼玉県に伝わる一人立三頭獅子舞を事例にして－	新井 啓子	お茶の水女子大学大学院
・ダンス学習における「体ほぐしの運動」に関する研究	桂 由貴子	お茶の水女子大学大学院
・韓国宮中舞踊「処容舞」の舞踊動作に関する研究 － Benesh Movement Notation による記譜分析を中心に－	蔡 美 京	お茶の水女子大学大学院
・ネルソン・グッドマンによる舞踊のオートグラフ性について	下山留理子	お茶の水女子大学大学院
・コンテンポラリーダンス解釈試論 －“超現実”の生まれる瞬間－	關 典子	お茶の水女子大学大学院
・ピナ・バウシュ (Pina Bausch 1940～) 作品に描かれた男性像・女性像に関する研究	前田 曜子	お茶の水女子大学大学院
・踊ること、生きること－木村百合子を事例として－	井上 知子	神戸大学大学院総合人間科学研究科
・E=J. ダルクローズのプラスティック・アニメ (la plastigue animee) 概念に関する研究－身体表現の今日的意義について－	花木 沙織	神戸大学大学院総合人間科学研究科
・身体表現活動における自己理解・他者理解の過程	山崎 泉	神戸大学大学院総合人間科学研究科
・ダンス創作に関する構造論的研究 －同一題材の2作品の比較考察－	菅原亜希子	上越教育大学大学院修士課程保健体育
・表現運動における動きの発生についての一考察 －牛山の指導に着目して－	上杉 政夫	上越教育大学大学院修士課程保健体育
・児童厚生施設に於けるレクリエーション活動としてのダンスの実態に関する研究	楠本 貴彦	日本女子体育大学大学院スポーツ科学研究科
・ダンスムーブメントに関する一考察 －下肢における Lateral Dominance (一側優位性) を通して－	栗山 基子	日本女子体育大学大学院スポーツ科学研究科
・日本舞踊の興行システムの足跡と対策の研究 －システム構築とプロセスの指針－	吉井 舞子	日本大学大学院舞台芸術専攻
・伝統における演劇の可能性 日本と韓国の伝統から演劇の可能性を探した, 1990年代公演串田和美演出のククーン歌舞伎「夏祭浪花鑑」李潤沢演出の「オク－死の形式」を中心に考察	孫 祥 喜	日本大学大学院舞台芸術専攻
・遠山霜月祭比較研究～湯立・舞～	渡辺 佳範	日本大学大学院舞台芸術専攻
・舞台音響論－歌舞伎音楽からの一考察－	阿部 史彦	日本大学大学院舞台芸術専攻
博士論文		
・韓国の創作舞踊における指導方法の研究	玄 悒 禎	お茶の水女子大学大学院
・マース・カニングハムの舞踊における静 (stillness) の展開	三戸 治子 (酒向)	お茶の水女子大学大学院
・『興』出現の構造分析的研究－湘南僧舞を手がかりとして－	李 七 女	お茶の水女子大学大学院
・身体表現における感性情報の認知に関する研究	阪田真己子	神戸大学大学院総合人間科学研究科

(以上、平成14年8月31日までにご回答いただいた該当論文を掲載いたしました。)